

JIS

防護服－熔融金属に対する評価方法

JIS T 8026 : 2018

(JSAA/JSA)

平成 30 年 4 月 25 日 制定

日本工業標準調査会 審議

(日本規格協会 発行)

日本工業標準調査会標準第一部会 保安技術専門委員会 構成表

	氏名	所属
(委員長)	山内 正剛	国立研究開発法人量子科学技術研究開発機構放射線医学総合研究所
(委員)	緒方 隆昌	一般社団法人日本非破壊検査協会
	小野 真理子	独立行政法人労働者健康安全機構労働安全衛生総合研究所
	木村 俊夫	公益社団法人日本アイソトープ協会
	釘宮 悦子	公益社団法人日本消費生活アドバイザー・コンサルタント・相談員協会
	利岡 和範	日本安全靴工業会
	根岸 公一郎	株式会社千代田テクノル
	野原 由樹子	一般社団法人日本防護服協議会
	播摩 吉男	公益社団法人日本保安用品協会
	山田 崇裕	近畿大学
	由野 友規	建設業労働災害防止協会

主 務 大 臣：厚生労働大臣， 経済産業大臣 制定：平成 30.4.25

官 報 公 示：平成 30.4.25

原 案 作 成 者：公益社団法人日本保安用品協会

(〒113-0034 東京都文京区湯島 2-31-15 和光湯島ビル TEL 03-5804-3125)

一般財団法人日本規格協会

(〒108-0073 東京都港区三田 3-13-12 三田 MT ビル TEL 03-4231-8530)

審 議 部 会：日本工業標準調査会 標準第一部会 (部会長 酒井 信介)

審議専門委員会：保安技術専門委員会 (委員長 山内 正剛)

この規格についての意見又は質問は，上記原案作成者，厚生労働省労働基準局 安全衛生部安全課 [〒100-8916 東京都千代田区霞が関 1-2-2 TEL 03-5253-1111 (代表)] 又は経済産業省産業技術環境局 国際標準課 [〒100-8901 東京都千代田区霞が関 1-3-1 TEL 03-3501-1511 (代表)] にご連絡ください。

なお，日本工業規格は，工業標準化法第 15 条の規定によって，少なくとも 5 年を経過する日までに日本工業標準調査会の審議に付され，速やかに，確認，改正又は廃止されます。

目 次

	ページ
序文	1
1 適用範囲	1
2 引用規格	1
3 用語及び定義	1
4 原理	2
5 試験装置	2
6 試料調整	4
7 試験片の採取	5
8 試験者の安全管理	5
9 試験手順	5
9.1 試験環境	5
9.2 装置の準備	5
9.3 熔融金属又は氷晶石の準備	5
9.4 試験片の試験片ホルダーへの取付け	5
9.5 流下	5
9.6 観察	6
9.7 試験金属の流下量の測定	6
9.8 繰返し試験	6
10 無効な試験	6
11 試験報告書	7
附属書 A (規定) 試験金属及び氷晶石に対する試験条件	8
附属書 B (規定) PVC センサーフィルムの性能確認試験	9
附属書 JA (参考) JIS と対応国際規格との対比表	11
解 説	13

まえがき

この規格は、工業標準化法第 12 条第 1 項の規定に基づき、公益社団法人日本保安用品協会（JSAA）及び一般財団法人日本規格協会（JSA）から、工業標準原案を具して日本工業規格を制定すべきとの申出があり、日本工業標準調査会の審議を経て、厚生労働大臣及び経済産業大臣が制定した日本工業規格である。

この規格は、著作権法で保護対象となっている著作物である。

この規格の一部が、特許権、出願公開後の特許出願又は実用新案権に抵触する可能性があることに注意を喚起する。厚生労働大臣、経済産業大臣及び日本工業標準調査会は、このような特許権、出願公開後の特許出願及び実用新案権に関わる確認について、責任はもたない。

防護服—溶融金属に対する評価方法

Protective clothing—Assessment of resistance of materials to molten metal splash

序文

この規格は、2007年に第2版として発行されたISO 9185を基とし、使用上の利便性を考慮するため技術的内容を変更して作成した日本工業規格である。

なお、この規格で側線又は点線の下線を施してある箇所は、対応国際規格を変更している事項である。変更の一覧表にその説明を付けて、附属書JAに示す。

1 適用範囲

この規格は、溶融金属に対する防護服材料の熱伝達性の評価方法について規定する。また、適用する金属及び鉱石は、アルミニウム、氷晶石、銅、鉄及び軟鋼とする。

注記 この規格の対応国際規格及びその対応の程度を表す記号を、次に示す。

ISO 9185:2007, Protective clothing—Assessment of resistance of materials to molten metal splash (MOD)

なお、対応の程度を表す記号“MOD”は、ISO/IEC Guide 21-1に基づき、“修正している”ことを示す。

2 引用規格

次に掲げる規格は、この規格に引用されることによって、この規格の規定の一部を構成する。これらの引用規格は、その最新版（追補を含む。）を適用する。

JIS C 1602 熱電対

JIS G 3101 一般構造用圧延鋼材

JIS G 4051 機械構造用炭素鋼鋼材

注記 対応国際規格：ISO 683-1, Heat-treatable steels, alloy steels and free-cutting steels—Part 1: Non-alloy steels for quenching and tempering (MOD)

JIS L 0105 繊維製品の物理試験方法通則

3 用語及び定義

この規格で用いる主な用語及び定義は、次による。

3.1

損傷 (damage)

溶融金属が流れる方向にポリ塩化ビニルセンサーフィルム（以下、PVCセンサーフィルムという。）の